

氏名	今北 英高	部署	理学療法学科	職名	教授
研究分野	基礎理学療法学、内部障害系理学療法学				
学位	博士（保健学）				
学歴	1991年3月信州大学医療技術短期大学部理学療法学科、2000年3月広島大学医学部保健学科、2002年3月広島大学大学院医学系研究科博士課程前期、2005年3月広島大学大学院保健学研究科博士課程後期				
経歴	2005年畿央大学健康科学部講師、2007年畿央大学健康科学部准教授、2009年畿央大学健康科学部教授、2022年埼玉県立大学保健医療福祉学部教授				
所属学会（役職）	日本理学療法士協会、日本生理学会、日本体力医学会、アメリカ生理学会、日本整形内科学研究会（理事）				

【2022年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Association between foot posture and tibiofemoral contact forces during barefoot walking in patients with knee osteoarthritis	共著	あり	○	BMC Musculoskeletal Disord.	Takanari Kubo, Daisuke Uritani, Shinya Ogaya, Shunsuke Kita, Takahiko Fukumoto, Tadashi Fujii, Yusuke Inagaki, Yasuhito Tanaka, Hidetaka Imagita	2022.7
2	Preoperative Factors Affecting Patient-reported Outcome Measures for Total Knee Arthroplasty.	共著	あり		Prog Rehabil Med.	Mawarikado Y, Inagaki Y, Fujii T, Imagita H, Fukumoto T, Kubo T, Shirahase M, Kido A, Tanaka Y.	2022.9
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	慢性腎臓病モデルに対する軽度高圧酸素療法法の検証	共同		日本基礎理学療法学会、大阪市	○白波瀬未萌, 嘉摩尻伸, 寺山奨悟, 今北英高	2022.12	
2	膝関節不安定性が脊髄神経機構に与える影響	共同		日本基礎理学療法学会、大阪市	○金村尚彦, 峯岸雄基, 小曾根海知, 加納拓馬, 黒尾彩, 岡優一郎, 村田健児, 森下佑里, 国分貴徳, 今北英高	2022.12	
(4) その他							
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	文部科学省 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究C			呼吸器疾患におけるミトコンドリア機能の経時的変化と酸素療法、運動療法の併用効果	研究代表者	2021.4~2024.3	
2	文部科学省 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究C			柿タンニンが関与する腸内細菌叢の変化と肥満予防との関連	研究分担者	2021.4~2024.3	
3. 教育業績							
(1) 講義							
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	循環系理学療法の臨床実践	○	8	問診やバイタルチェックなど臨床で使う技術を実践した。			
2	IPW論		15	ヒューマンケア論・ヒューマンケア体験実習に続き、IPW論は、保健医療福祉・教育分野の多職種が、患者・利用者中心の支援活動をチームで行うための基本的な考え方とスキルを学ばせた。			
3	内部障害理学療法学		4	内部障害、特に循環器、代謝（糖尿病）についての講義を実施した。			
4	大学院 理学療法症候障害論		3	内部障害に関連する研究の現状について講義した。			
5	大学院 内部機能障害治療学特論		10	内部障害の介入手法について、その分析法も加え説明した。			

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	大学院 理学療法症候障害演習		3	理学療法研究について大学院生とディスカッションし、方法論について講義した。
2	大学院 リハビリテーション学演習 (内部機能障害治療学)		10	内部障害における臨床での研究手法と、基礎研究との意義や乖離についてディスカッションし、指導した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	応用運動療法学実習	○	8	3年生次を対象に、内部障害系、特に循環器系、代謝系理学療法に関連する理学療法技術の実習を実施した。
2	IPW実習		15	4年生次を対象に、1週間の遠隔実習を実施した。実習病院のスタッフの方々と事前打ち合わせも含め、詳細に計画し、期待した学習効果を挙げることができた。
3	内部障害理学療法学実習	○	12	循環器、代謝系理学療法に関連する医学的および理学療法評価について実際の技術を習得させた。
4	臨床推論実習		12	糖尿病の下歯切断症例、慢性心不全、COPDの症例を提示し、医学的情報の取得、理学療法評価項目の列挙、理学療法プログラムの一連の臨床的推論を実施した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	修士論文	2022.4～2023.3	主指導 (指導教員) 0名	副指導 (指導補助教員) 3名
2	博士論文	2022.4～2023.3	主指導 (指導教員) 0名	副指導 (指導補助教員) 3名
(5) その他				
	名称	期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	畿央大学 非常勤講師	2022.4～2022.11	生理学 (動物生理学、植物生理学) について非常勤講師として42コマ担当した。	
2	春日部市立看護専門学校 非常勤講師	2022.4～2022.7	解剖生理学 (循環器、血管) について非常勤講師として6コマ担当した。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	第5回日本整形内科学研究会学術集会 大会長講演	一般社団法人 日本整形内科学	Fasciaの解剖生理学的見地と加齢変化	2022.11
2	大阪市阿倍野区理学療法士会Web研修会	阿倍野区理学療法士会	治療と評価が広がる知っておくべきFasciaの最新理解	2022.12
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	一般社団法人 日本整形内科学研究会	理事	2021.4～2024.3	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	学科等における委員会等	研究推進委員 (大学院)		
6. 受賞 (研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			